



# ほんわか

令和6年7月16日  
保健だより3年特別号  
小松市立芦城中学校

## 思春期講座を開催しました

7月11日(木)産婦人科医・佐竹 紳一郎先生に富山県からお越しいただき思春期講座を開催しました。講座後の皆さんの感想からは、なんとなく知っていた“性”に関するについて深く考える良い機会になったことが伝わってきました。「若い時期の妊娠が良いかどうか」、「中絶についてどう思うか」など性について考える機会をたくさん持ったり、様々な考えと触れ合ったりすることにより、その後の自分のとる行動が変わってくると思います。



以下に皆さんの感想を紹介します。感想を読み、お家の人や友達と話し合う時間を持ってもらえると嬉しく思います。

### ★みんなの感想



最初は正直、気まずいと思ったけど、佐竹先生がおっしゃる通り、知識がないことが一番怖いと思います。お話の中で、私たちと同じような中学生、ましてや小学生が例として紹介されていて驚きました。人工妊娠中絶の話では、責任をもって幸せになった人と責任をもてなかった人がいて、全員がそうなわけではないけれど、知識を持つことの大切さをますます感じました。勉強の機会になってよかったです。

講演を聴き、感じたことは相手の気持ちになって考えることが一番大切だということです。人それぞれ、環境も考え方も違うし、自分の考えが相手にとっては理解しにくく、すれ違うことだってあると思います。でも、伝えることが必要だから、自分なりに伝え方を考えられるようにしたいです。私は、このようなコミュニケーションが苦手なので、少しずつ、誰かの気持ちを理解してみようと努力し続けます。自分の行動を振り返り、そしてつなげるよい機会となりました。

僕とほとんど年齢が変わらない人が自分の子どもを産む、産まないという選択をしていることが心に残った。産まないといった選択も間違っているわけではないし、産みたくても産めないという状況にいる人もいると思うと胸が苦しくなった。産むとなったとき、他人事ではなく、自分たち二人でつくった生命という意識を持ってないと、相手を傷つけてしまったり、これから上手いかず、別れてしまったりする可能性があるんで、支えてあげて少しでも気持ちが明るくなり、産まれてくるのが楽しみになるような関係をつくりたいと思った。

とても印象に残ったのは、女性の大変さです。今日のお話を通して、女性の大変さは自分の思っている以上につらいものだとして強く感じました。また、男性の発言や行動が、人工妊娠中絶といった女性の将来を大きく変えてしまったり、1つの命をうばってしまったことにつながることもあると分かりました。だからこそ、自分たち男性は相手を気づかっていくことをもっと大切にしなければいけないと思いました。そして、お互いやみんなで支え合いができるようになれば良いと思いました。

よく知らないことを知ることができて、とても良い機会になったと思いました。中絶ということは、なんとなく知っていたけど、中絶するかしないかという判断をするのはとても大変なことだと初めて知りました。その判断を1人ではなく、2人ですということが大切だと分かりました。



私はこのお話を聞いて、これから私たちが経験するかもしれない大事な大事なことをたくさん教えていただきました。女子にも男子にも悩みはあって、女子なら生理のつらさや男子はそれを支える気持ちを持つのに大変な思いをしていると思います。だけど、自分の悩みも相手の悩みも分かり合って分け合って支え合って、生きていくのが大切なことなのだと、改めて実感しました。これからたくさんの人とコミュニケーションをとるうえでそれをふまえて、お互いを支え合いながら歩んでいきたいです。

佐竹先生の講演を聞いて、妊娠するという事は、時間やお金、体、精神に大きな負担がかかるから1人で全部背負うことは不可能に近いのかなと思った。また、自分が人を選べるのは、これから先に付き合うパートナーだけだという話を聞いて納得した。そのパートナーが異性ではなく、同性でも良いと教えられたことが一番印象に残った。だから、自分がパートナーを選ぶときは一緒に支えてくれる人がいいし、自分も支えられる人になりたいと思った。

新しい命を生み出すには、自分だけではなく、大切なパートナーや家族なども責任と覚悟を持たないといけないということが分かった。私が大人になったときは、後先のことも真剣に考え、自分の行動に責任を持つようにしたい。また、今回の講演では生理についてのお話もあった。生理は、時期が不規則だったり、生理痛が激しかったりと人によって様々な辛さがあることを学んだ。私は将来、生理で苦しんでいる人が安心して過ごせるように、周りの人が温かく支えるような社会になってほしいと思う。

今日のお話を聞いて、正直「そんなことが本当にあるんだ。」と驚いた部分がたくさんありました。特に、佐竹先生が実際に経験されたことのお話などです。自分はまだあまり想像できなかったけど、世の中には自分以上に性的なことで苦しんでいる人たちがいるのだなと知る機会になりました。また、お話の中には今の自分と結び付けて考えられる部分もあったので、これから今の自分の気持ちに合わせて同性とも異性とも上手くやっていけるようにしたいです。

佐竹先生のお話を聞いて、私は人工妊娠中絶というものはとても酷く、無責任すぎると思いました。妊娠5カ月までは中絶することが法律で許されていたとしても、お腹の中に宿った罪のない尊い命が失われてしまうというのは理解できません。今回のお話を聞き、1つの命に関わることなのに、知識不足で命を奪うような人になりたくないなと思えました。正直なところ妊娠や中絶は、自分にはまだ想像することも難しく、遠いことのように感じられて、それは私の年齢や近い年齢の子たちでも起こりうることだと知ることができました。私は尊い命が奪われることのないように今のうちから知識を持っておきたいなと思います。



生徒代表よりお礼と感想を伝える様子